

プリム通信



ぎょうかいねんかん 教会 年間テーマ～主に愛された者から主を愛する者へ「私は主を愛する」～

2026 | 復活 = 永遠のいのち | No. 7



ショートメッセージ「《死》は新たな人生の始まり」

イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。
わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。

また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。

このことを信じますか。」 <ヨハネの福音書11章25～26節>

日本は先祖供養を重んじる習慣が根強い国です。春秋の彼岸と夏の盆に、家族揃って墓参りに出かけていくことを、当然の年中行事とされている方が非常に多くおられます。私も子どもの頃は、親に連れられて墓前に行き、線香をあげて手を合わせていました。「あなたのおじいちゃん、おばあちゃんたちがここに眠っているのよ。」という大人たちの言葉に、何の疑いを抱くこともありませんでした。

ところが、そんな今までの日本人の常識を、根底から覆すような歌が突然登場して、大きな話題を呼びました。テノール歌手の秋山氏が歌った「千の風になって」です。その歌詞の中に「私のお墓の前で泣かないでください。そこに私はいません。眠ってなんかいません。」というフレーズがありました。「えっ！墓の中に先祖が眠っていないって?!」と、この歌は多くの日本人に大きなカルチャーショックを与えたようです。しかし考えてみれば、地下のあんなに狭く暗いところに、大切な先祖様を閉じ込めておくのは供養と言えるのか...この歌が大ヒットして一世を風靡した背景には、誰もが本当は、この歌詞の通りであってほしい、と心のどこかで願っていたからではないでしょうか。

私は、この歌をふと口ずさむ時、いつも、聖書のある一場面を思い起こします。それは、イエス様が十字架で処刑され、墓に葬られた三日後の日曜日の朝のことです。イエス様を慕う弟子の女性たちが、その遺体の納められた墓に行ってみると-

週の初めの日の明け方早く、女たちは、準備しておいた香料を持って墓に着いた。
見ると、石が墓からわきまにころがしてあった。はいって見ると、主イエスのからだはなかった。
そのため女たちが途方にくれていると、見よ、まばゆいばかりの衣を着たふたりの人が、
女たちの近くにきた。恐ろしくなって、地面に顔を伏せていると、その人たちはこう言った。
「あなたがたは、なぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。

ここにはおられません。よみがえられたのです。

まだガリラヤにおられたころ、お話になったことを思い出さない。

人の子は必ず罪人らの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえらなければならない、
と言われたでしょう。」女たちはイエスのみことばを思い出した。 <ルカの福音書24章1～8節>

イエス様は全人類の罪をその身に背負って十字架にかかってくださいました。そして私たちの罪の贖いを完全に成し遂げるために一度死んで墓に葬られたのです。しかし三日目に、その死を打ち破りよみがえられ、イエス様を信じる全ての人々に、新しいいのちへの道を開いてくださったのです。

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。〈ヨハネの福音書14章6節〉

「あなたはなぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。ここにはおられません。よみがえられたのです。」

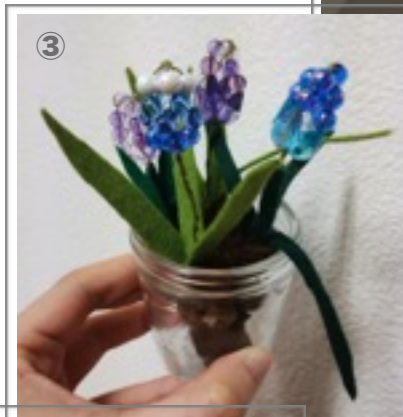
本来、「死」は全人類、もれなくすべての人にとっての「絶望」です。しかし、御使いを通して語られたこのみことばは、私たちの人生に「復活」という大逆転の「希望」をもたらしてくれたのです。この復活の主イエス様が、私たちに与えてくださる新しいのちは、二度と死を見ることのない、永遠のいのちです。

ハレルヤ！

もし、私たちがこの世にあってキリストに単なる希望を置いているだけなら、私たちは、すべての人の中で一番哀れな者です。

しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。というのは、死がひとりの人を通して来たように、死者の復活もひとりの人を通して来たからです。

すなわち、アダムにあってすべての人が死んでいるように、キリストによってすべての人が生かされるからです。〈コリント人への手紙第一15章19～22節〉



①玄関に飾られた、たまごとひよこのガーランド。「おはよう」は、復活したイエス様が一番最初に語られた、聖書の中で最も簡潔かつ力強いみことばです。

②毎年恒例の復活祭たまごカード。今年は、受け取った人が自分で殻を破る仕様にしました。少しでもみんなの記憶に残りますように。

③午後の作業タイムは、ピーズでムスカリを作りました。球根に咲く花は、卵からかえるひよここと同様、見るたびに、復活の新しいのちへの確信を深めてくれます。

④特別なお祝いの看板が出ていない日曜日でも、教会は毎週が復活祭です。いつでも、お待ちしております。



かんしゃとくべつれいはい
2026復活感謝特別礼拝
2026/4/5

病床やご高齢で教会に足を運ぶことが難しい場合、お呼びいただければ、牧師がどこへでも祈りにお伺いします